

# 二本松市 地震防災マップ



二本松市

# はじめに

日本列島は、古くから繰り返し地震による被害を受けてきました。最近でも平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震などが発生しています。これらの地震による犠牲者の多くが、倒壊した住宅に押しつぶされて亡くなる「圧死」でした。このような被害を減らすためには、住宅等の耐震化が重要になってきます。

二本松市では、考えられる最も大きい地震が発生した場合に予測される地域ごとの建物被害の危険性を示した「地域の危険度マップ」、各地域の震度を示した「揺れやすさマップ」、および地域の液状化の危険性を示す「液状化危険度マップ」を作成しました。住民のみなさんが自宅周辺や通勤・通学路等の「揺れ」、「建物被害の危険性」、および「液状化の危険性」を確認し、地震への備えを行うために「地震防災マップ」をお使いください。

問い合わせ先 ● tel 0243-55-5102  
二本松市生活環境課 ● e-mail shiminseikatsu@city.nihonmatsu.lg.jp

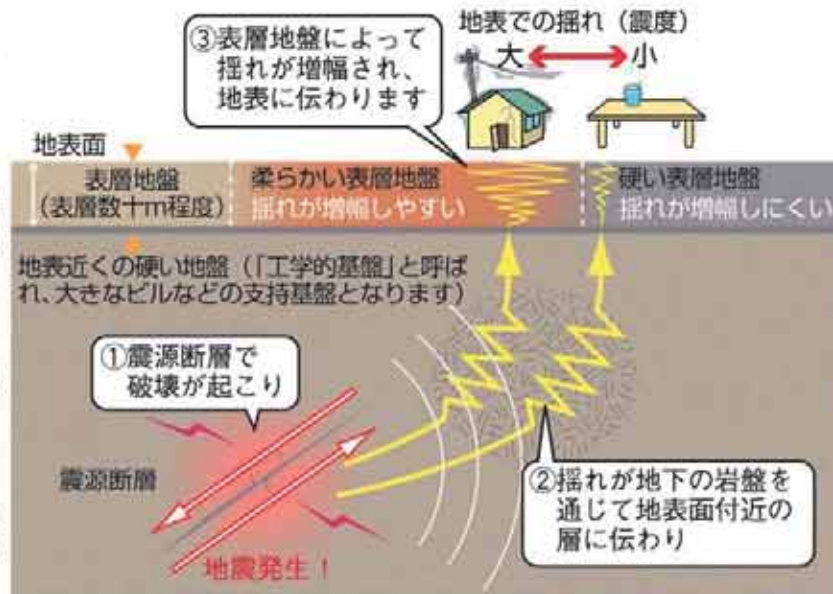
目次	
●はじめに	1
●揺れやすさマップ	
解説	1
二本松市全図	3
二本松地域	5
安達地域	7
岩代地域	9
東和地域	11
●液状化危険度マップ	13
●地域の危険度マップ	
解説	15
二本松市全図	17
二本松地域	19
二本松中心部	21
安達地域	23
岩代地域	25
東和地域	27
●地震に備えて	29
●指定避難場所・指定避難所一覧	30

# 揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、二本松市に影響を及ぼすと予想される地震による震度を重ね合わせ、最大の震度を表示したものです。つまり、各地点で考えられる最大の震度を表示したマップです。

## 揺れやすさマップができるまで

- ①二本松市に大きな影響を与えることが予想される地震を選び、震源や規模などを設定します。
- ②それぞれの地震について震源からの距離と揺れの強さの関係を用いて、地表近くの硬い地盤までの揺れの大きさを計算します。
- ③表層の地盤の揺れやすさを加味して、想定地震ごとの震度分布図を作成します。
- ④地震ごとの震度分布図のうち、その地域で最も大きな震度を採用し、揺れやすさマップが完成です。

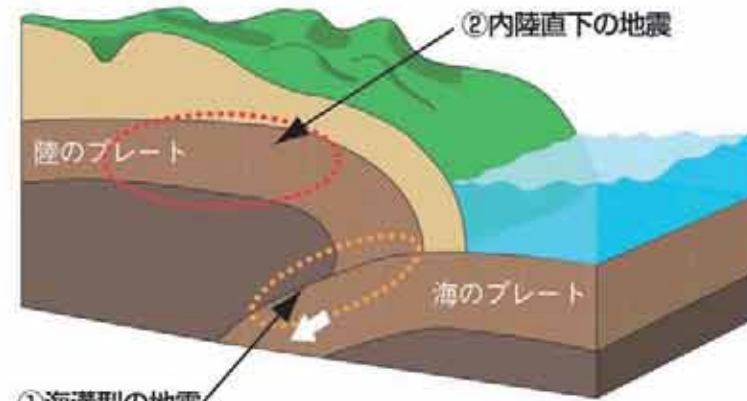


# 地震はなぜ起きるの？

地球の表面は十数枚の「プレート」という固い岩石の層におおわれています。このプレートは大陸や海をのせてゆっくり動いています。これらのプレート同士がぶつかったり、押し合ったりして、プレートに力がかわり地盤が破壊されます。これが地震のおもな原因です。

さらに細かく見てみると、地震が起こる場所や起こる原因などによっていくつかのタイプがあります。代表的なものとしてはプレート同士の境目付近で起こる海溝型地震や活断層で発生する地震などです。

## 【地震が起こる場所】



## 二本松市に影響を及ぼす地震

地震発生概要	地震発生の特徴
福島県沖地震	福島県沖を震源とする地震で、昭和13年(1938年)に発生しています。今後30年の間に地震が発生する可能性は、7%以下と予想されています。
宮城県沖地震	宮城県沖を震源とする地震で、昭和53年(1978年)に発生しています。今後30年の間に地震が発生する可能性は99%と言われており、近い将来の発生が予想されています。
福島盆地西縁断層帯の地震	福島盆地の西側を南北に走る断層が活動して起こる地震です。およそ8千年に1回の割合で地震が発生しており、今後30年で地震が発生する可能性はほぼ0%と考えられています。
会津盆地東縁断層帯の地震	会津盆地の東側を南北に走る断層が活動して起こる地震です。およそ6300~9300年に1回の割合で地震が発生しており、今後30年で地震が発生する可能性はほぼ0%から0.02%と考えられています。
二本松市直下の地震	二本松市直下で発生する地震です。いつどこで発生するかを予測することは困難です。

## ①海溝型の地震

海のプレートが沈み込むときに、陸のプレートを一緒に引きずり込みます。この時、陸のプレートがその力にたえきれず、元にもどろうとする時に地震が発生します。二本松市の周辺では、昭和53年(1978年)の宮城県沖地震や平成17年(2005年)の宮城県南部地震など、日本海溝周辺でこのタイプの地震が発生しています。

## ②内陸直下の地震

海のプレートが陸のプレートを押すことで、海や陸のプレート内に様々な力がかかり、プレート内の弱い部分が破壊され、地震が発生します。陸側の浅いプレート内で起こる地震(内陸直下の地震)は、人が多く住んでいる場所のすぐ下で起こることもあり、その場合は大きな被害が生じます。平成7年(1995年)に発生した阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)や平成16年(2004年)の新潟県中越地震は、このタイプの地震です。



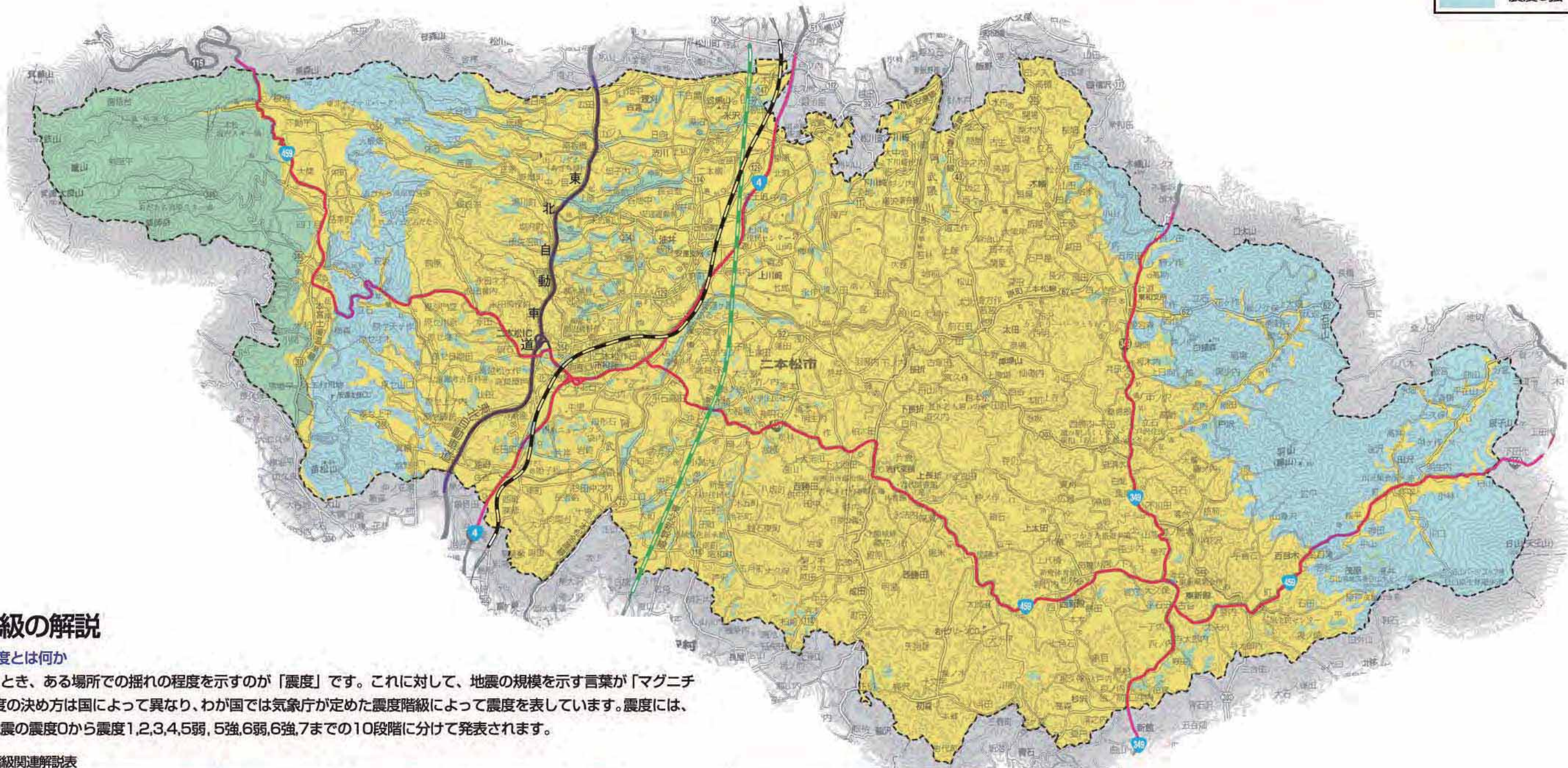
### 地震防災マップについて

地震防災マップは、「地震防災マップ作成技術資料(内閣府,平成17年3月)」に基づいて作成しました。二本松市域をおよそ50m四方の格子(メッシュ)に細分し、メッシュごとに地震動や液状化危険度、地域の危険度を予想しています。

# 揺れやすさマップ【二本松市全図】

各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

凡	例
	震度6強
	震度6弱
	震度5強



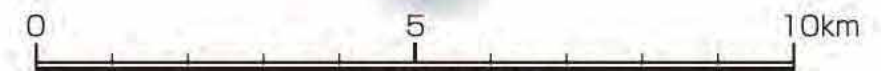
## 震度階級の解説

### 地震の大きさ=震度とは何か

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を示すのが「震度」です。これに対して、地震の規模を示す言葉が「マグニチュード」です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。震度には、身体に感じない地震の震度0から震度1,2,3,4,5弱, 5強,6弱,6強,7までの10段階に分けて発表されます。

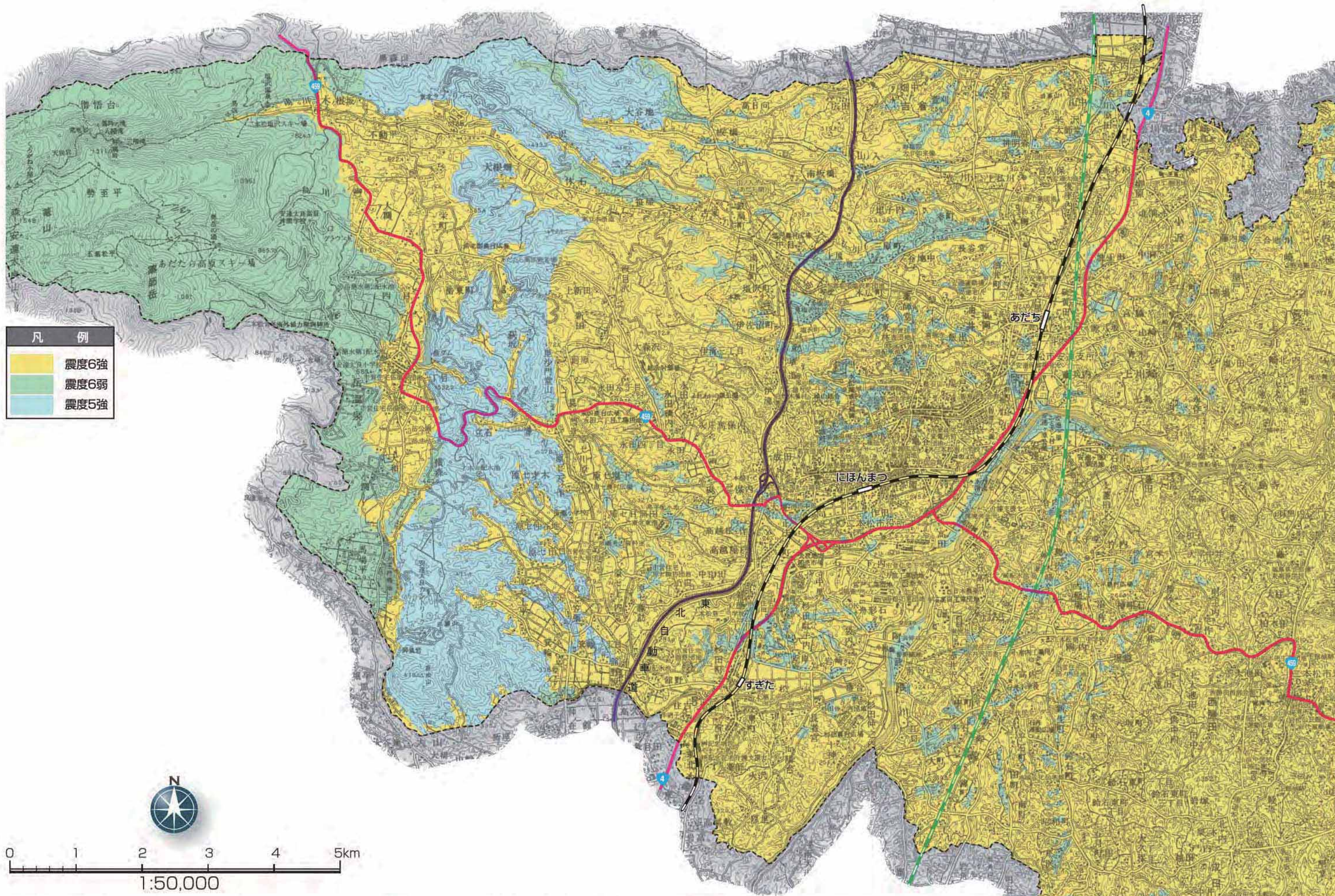
出典：気象庁震度階級関連解説表

震度階級	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強
人間の体感・行動	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くことができず、飛ばされることもある。	立っていることが困難になる。	立っていることが困難になる。	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
木造建物(住宅)	耐震性が高い	壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	壁などにひび割れ・亀裂が見られることがある。	—
	耐震性が低い	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



1:100,000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用した。(承認番号 平22業使、第202号)」



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	震度6強
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border:1px solid black;"></span>	震度6弱
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span>	震度5強



# 揺れやすさマップ【二本松地域】

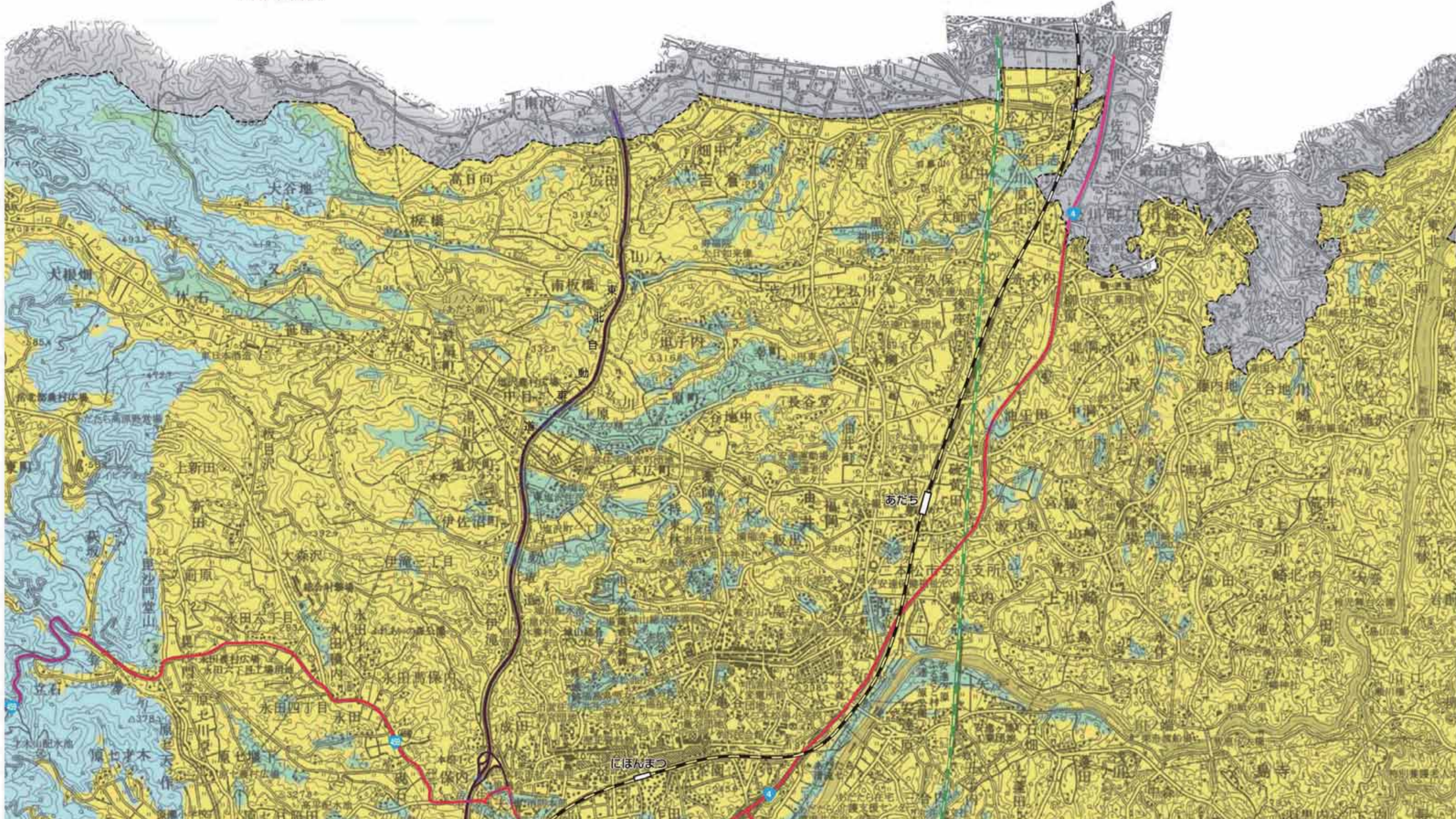
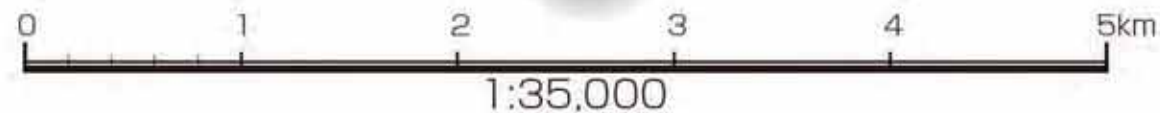
各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22業複、第224号)」

# 揺れやすさマップ【安達地域】

各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

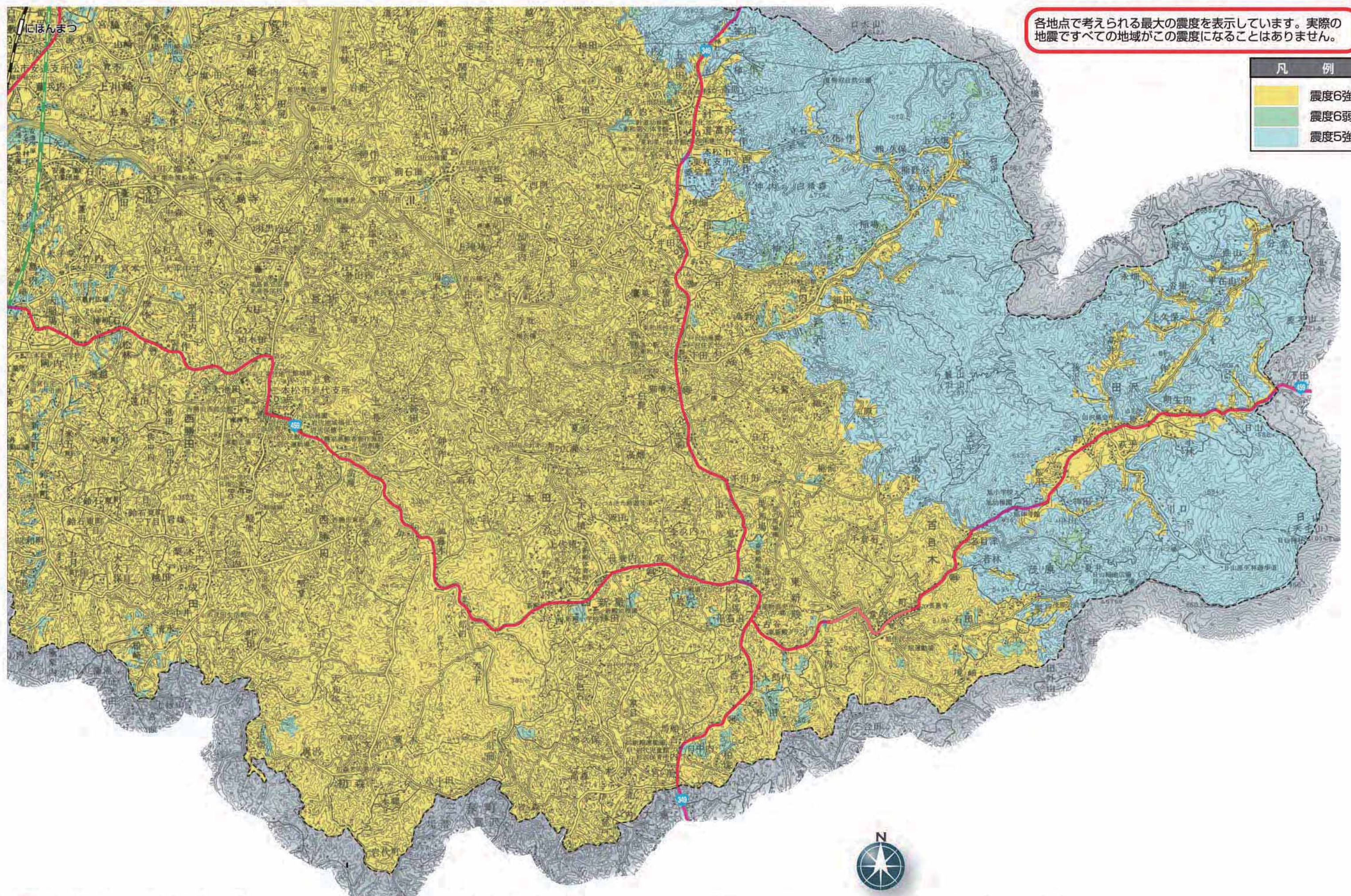
凡	例
震度6強	震度6弱
震度5強	



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22業複、第224号)」

各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

凡 例	
	震度6強
	震度6弱
	震度5強



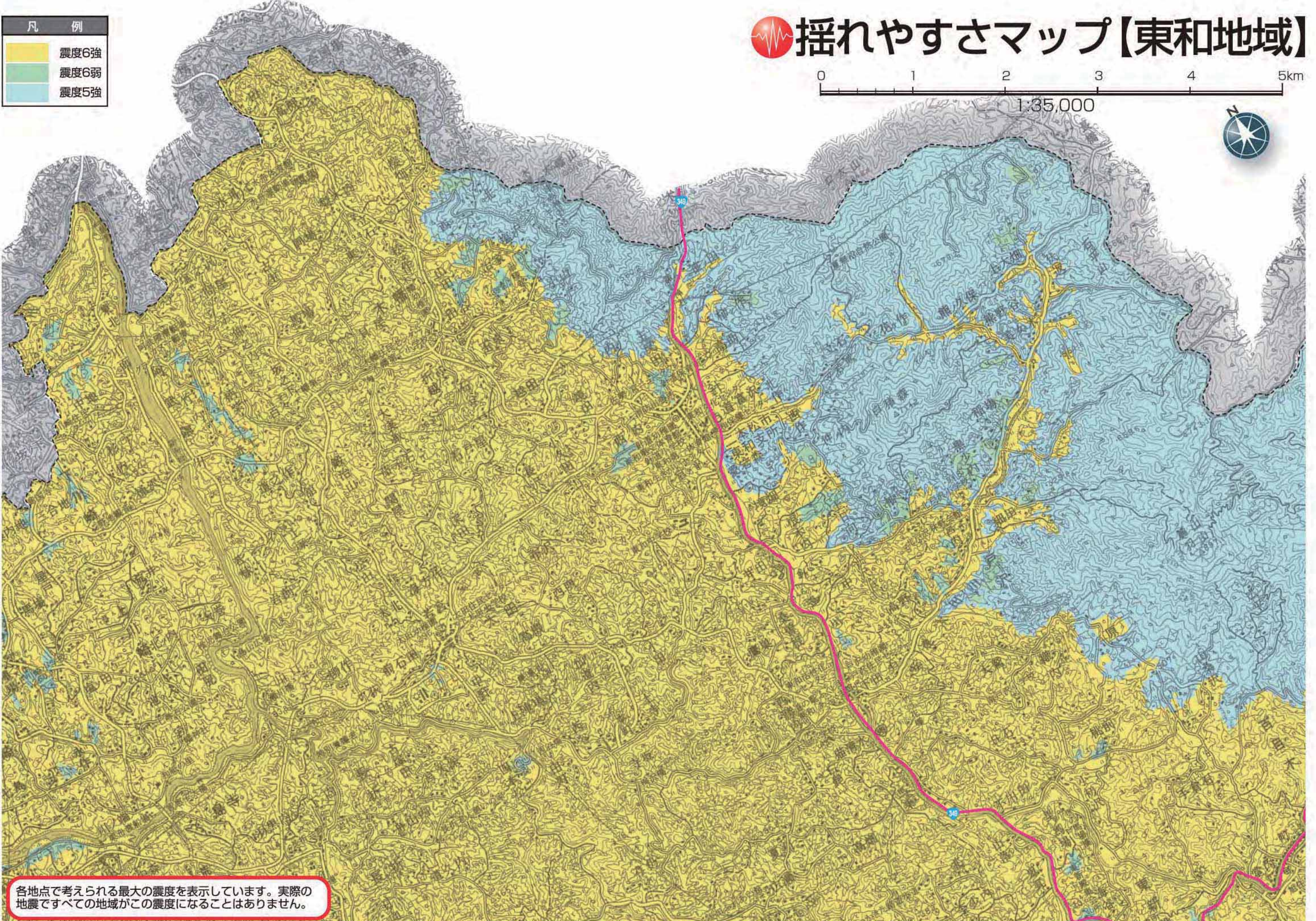
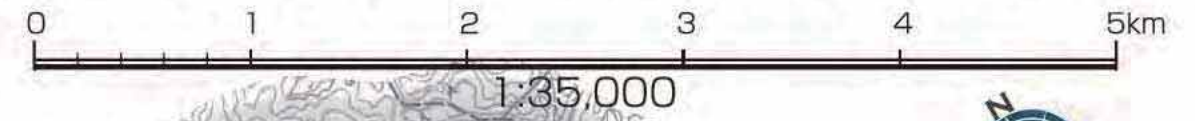
 **揺れやすさマップ【岩代地域】**

0 1 2 3 4 5km  
1:50,000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22集複、第224号)」

凡 例	
	震度6強
	震度6弱
	震度5強

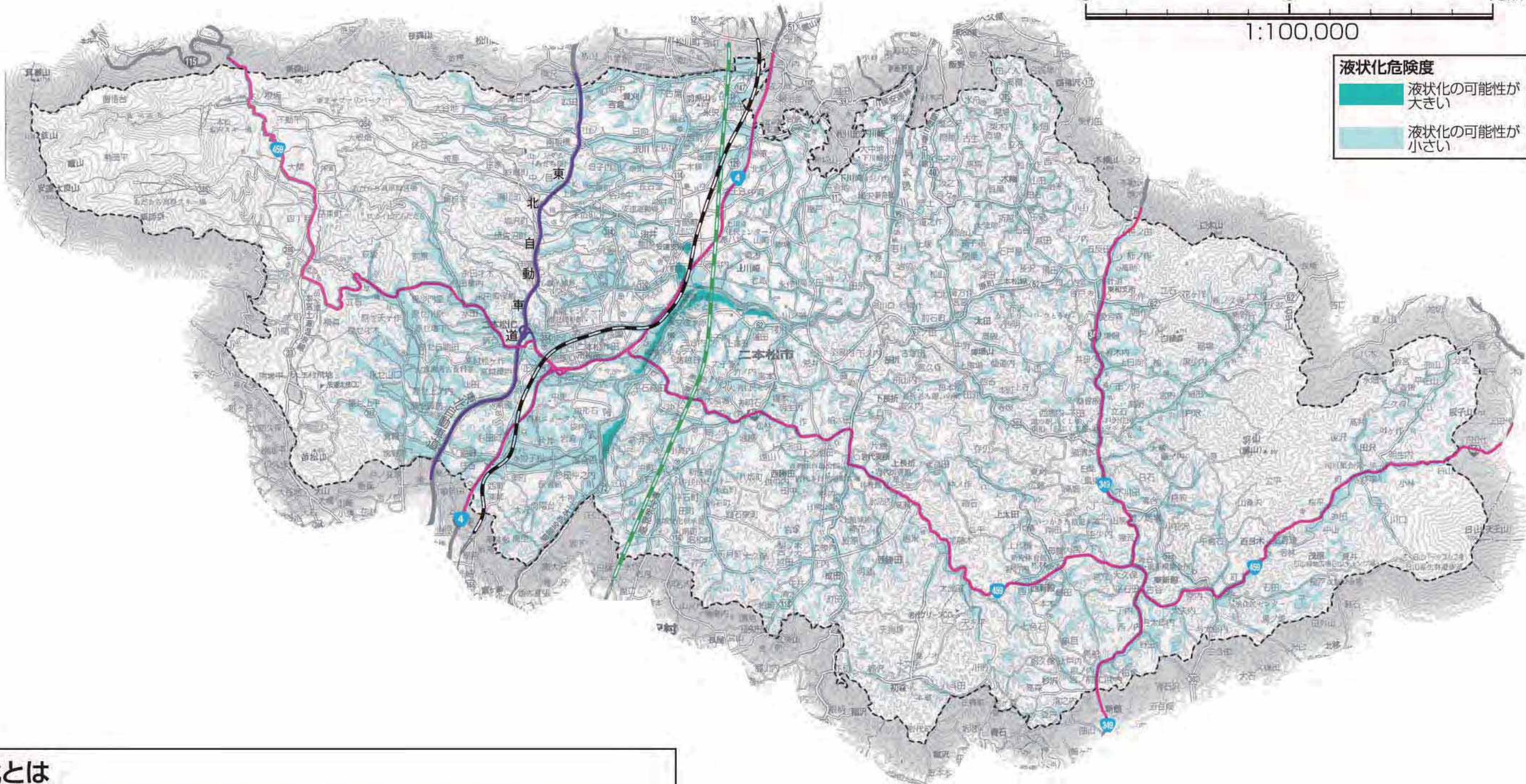
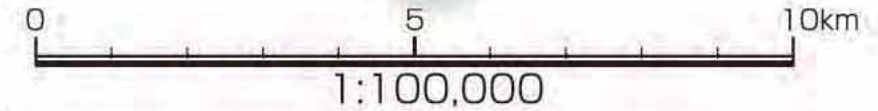
# 揺れやすさマップ【東和地域】



各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22業複、第224号)」

# 液状化危険度マップ



**液状化危険度**

- 液状化の可能性が大きい
- 液状化の可能性が小さい

**液状化とは**

液状化とは、地震により砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになり、周辺が地下水で満たされ地盤が泥水となり、地盤の強度が弱まったり、地盤の沈下が発生する現象です。

地震発生前

●砂粒子同士が「骨格」を作り、自分の重さや上に載る構造物の重さを支えています。

地震発生後

●地震によって砂粒子がばらばらにされ、地盤が泥水になり、構造物に沈下などの影響を与えることがあります。

地震発生後、地盤が泥水(液状)化した範囲。

## 液状化危険度マップができるまで

- 液状化危険度マップは、液状化ゾーニングマニュアル(国土庁防災局、平成11年1月)を参考に、次の手順で作成しています。
- ①市内の地形を地形分類にもとづき分類します。
  - ②それぞれの地形に応じた液状化の発生しやすさの違いから、液状化の可能性を推定します。



# 地域の危険度マップ

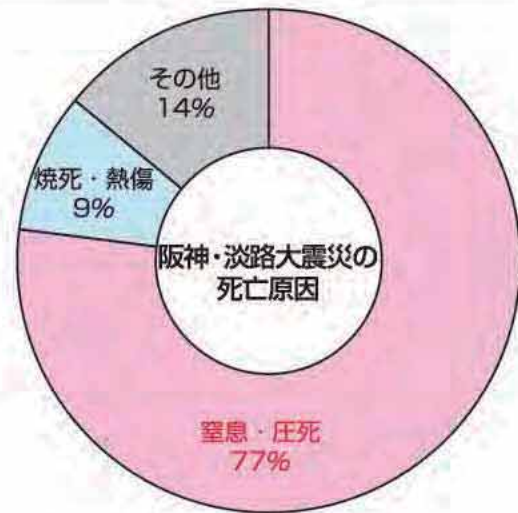
「地域の危険度マップ」は、大字や地区ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、「揺れやすさマップ」の揺れによって建物が全壊すると予想される割合を「危険度」として表示したものです。

## 恐ろしい家屋の倒壊

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めていました。



倒壊した被災家屋（平成19年新潟県中越沖地震）



【阪神・淡路大震災調査報告 総集編】阪神・淡路大震災調査報告編集委員会、(2000)、厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況」(1995.12)より作成

**皆さんの生命・財産を守るためには、住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。**

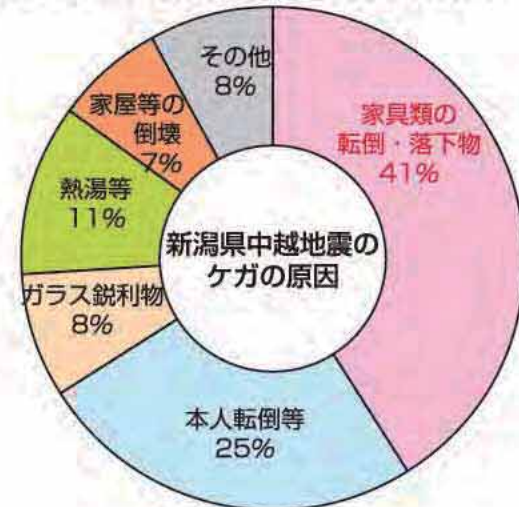
## 家具や家電製品の地震対策も忘れずに

住宅の全壊を免れても、タンスなどの家具が転倒、テレビや電子レンジが飛び、ガラスが砕け散るなど、何気ないものが一瞬にして凶器に変わり、思わぬケガをしたり、避難が遅れて火災に巻き込まれたりすることがあります。新潟県中越地震によるケガの原因の4割以上が家具類の転倒・落下物といわれています。



阪神・淡路大震災での被害

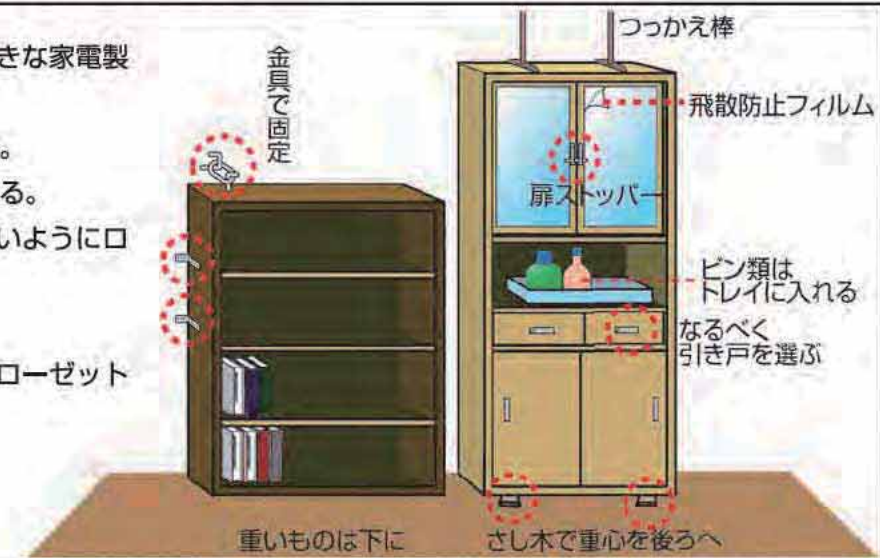
【平成16年(2004年)新潟県中越地震における人的被害に関する現地調査結果】東京消防庁(2004)より作成



## 家具の配置や転倒防止のチェックポイント

屋内での安全を確保するために、ご自宅の中を確認してみましょう。

- ①食事をとる場所や避難経路になる場所に、大きな家電製品や家具は置かない。
- ②収納は重いものを下へ、軽いものを上に入れる。
- ③大型の家電製品や家具は転倒防止器具で固定する。
- ④食器棚や本棚などは、中のものが飛び出さないようにロックを付ける。
- ⑤ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。
- ⑥新築やリフォームでは、造りつけの収納やクローゼットを設置する。



## 耐震診断のすすめ

財団法人日本建築防災協会から「誰でもできるわが家の耐震診断」が提供されています。以下の建物は注意が必要です。<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagayare.pdf>

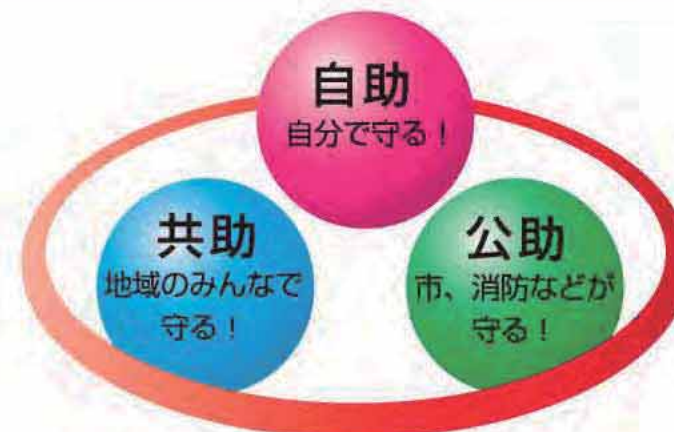
なお、木造住宅の耐震化の平均的な費用は約160万円(財団法人建設経済研究所推計)といわれていますが、実際の施工費用は、工事の内容によっても異なるので、信頼できる専門家にご相談下さい。

- 1) 新耐震設計基準(昭和56年施行)に基づき設計されていない。
- 2) 住宅が過去に大きな災害(浸水被害も含む)を経験したことがある。
- 3) 住宅の構造、形、偏って大きな窓があるなど、耐震に関わる基本的な住宅の性質に問題がある。  
(耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目立った症状が無くても耐震診断を受けることが重要です)
- 4) その他、ドアや窓の立て付けが悪い、建物が傾いているのが肉眼でもわかる、壁に長い斜めのひび割れ等が見られる。

## 災害に備えましょう～自分たちの地域は自分たちで守る～

災害が起きたときには二本松市や消防署をはじめとする防災関係機関などが災害対応に当たります。しかし、大きい災害が発生したときには防災関係機関だけでは対処し切れません。「自分たちの地域は自分たちで守る」ため、自助、共助、公助の連携で災害に備えましょう。

※阪神・淡路大震災時に生き埋めや閉じこめられた人の救助は、「自力で」「家族に」などの自助は約67%、「友人・隣人に」などの共助は約31%、救急や自衛隊などによる公助は約2%でした。



自助…まずは、自分や家族の生命や財産を、自分の責任で守りましょう！  
共助…いざというときには地域での助け合いが重要です。日頃から地域のみなさんとコミュニケーションを深めましょう。  
公助…市、消防、警察、自衛隊などの行政機関等が守ります。

# 地域の危険度マップ【二本松市全図】

よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。



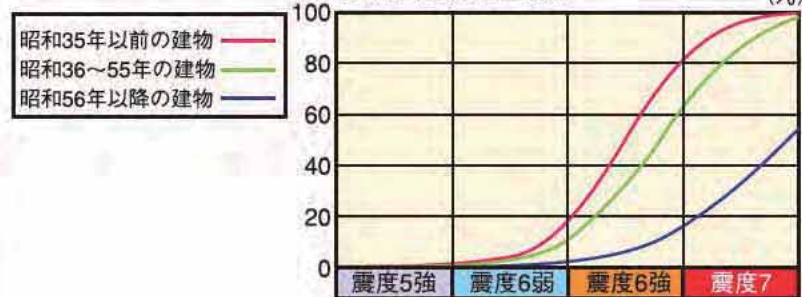
## 地域の危険度マップができるまで 過去の地震による震度と建物全壊率の関係

### 揺れやすさマップ

〈地域の揺れやすさ〉  
メッシュごとの揺れやすさ

下図は震度と全壊率の関係を建築年代別・構造別に示しています。建築年代が古い建物ほど、全壊率は高くなっています。特に古い建物の全壊率は新しい建物の全壊率に比べて、震度6強以上で急激に高くなっています。

●木造建物の全壊率 (%)



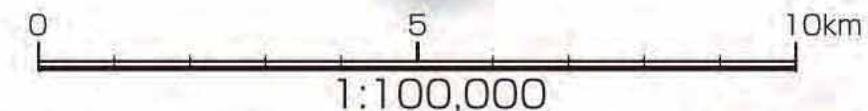
●非木造建物の全壊率 (%)



大字や地区ごとに  
建築年代や  
構造を考慮した  
建物分布

### 地域の危険度マップ

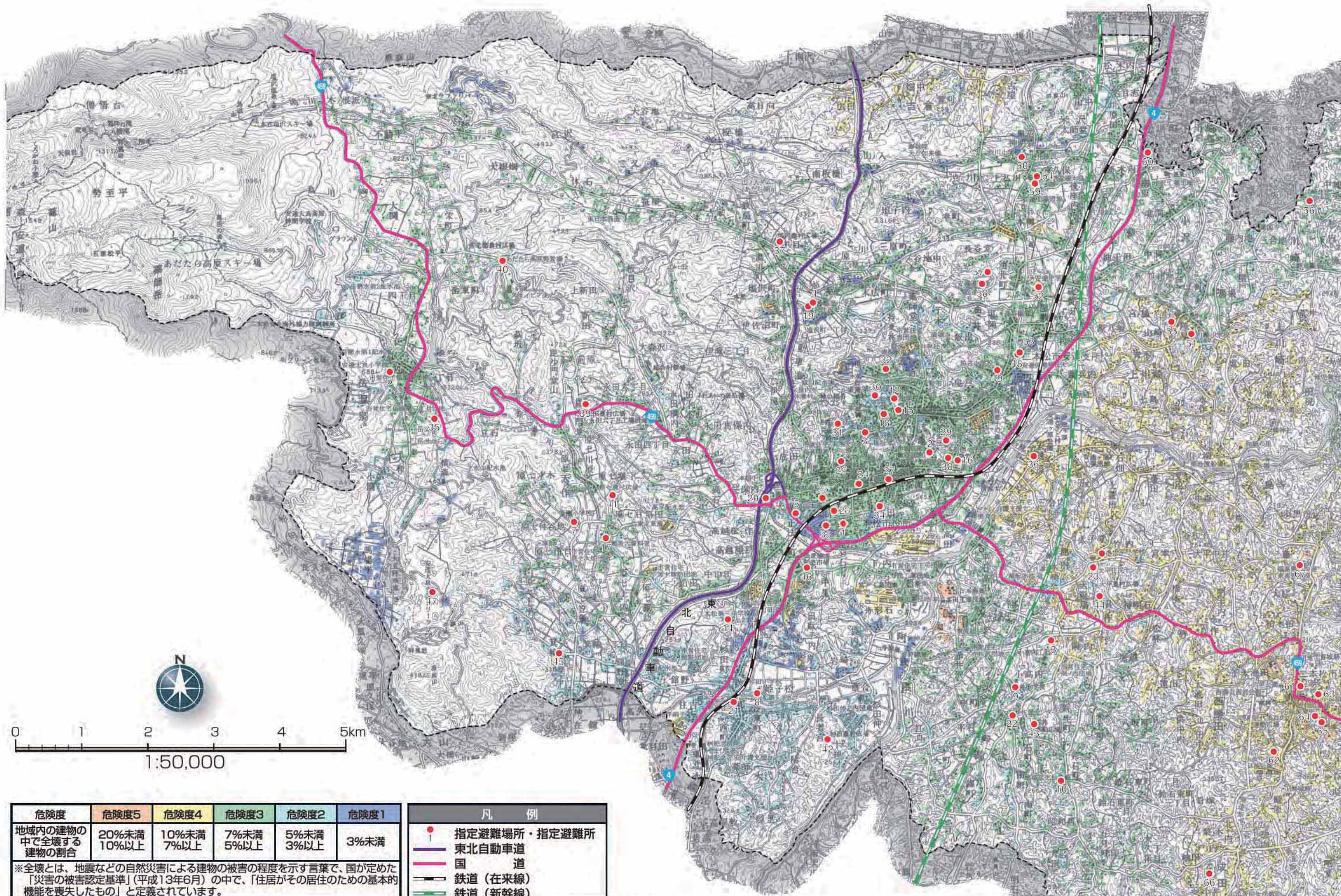
〈建物被害の危険度〉  
メッシュごとの建物が  
全壊すると予想される率



危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用した。(承認番号 平22業使、第202号)」



危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1	凡 例
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: red;">●</span> 1 指定避難場所・指定避難所</li> <li><span style="color: purple;">—</span> 東北自動車道</li> <li><span style="color: red;">—</span> 国道</li> <li><span style="color: black;">—</span> 鉄道（在来線）</li> <li><span style="color: green;">—</span> 鉄道（新幹線）</li> </ul>

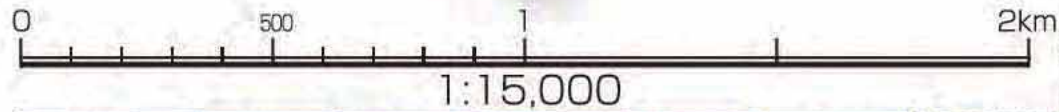
※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」（平成13年6月）の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。

# 地域の危険度マップ【二本松地域】

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平22業複、第224号）」

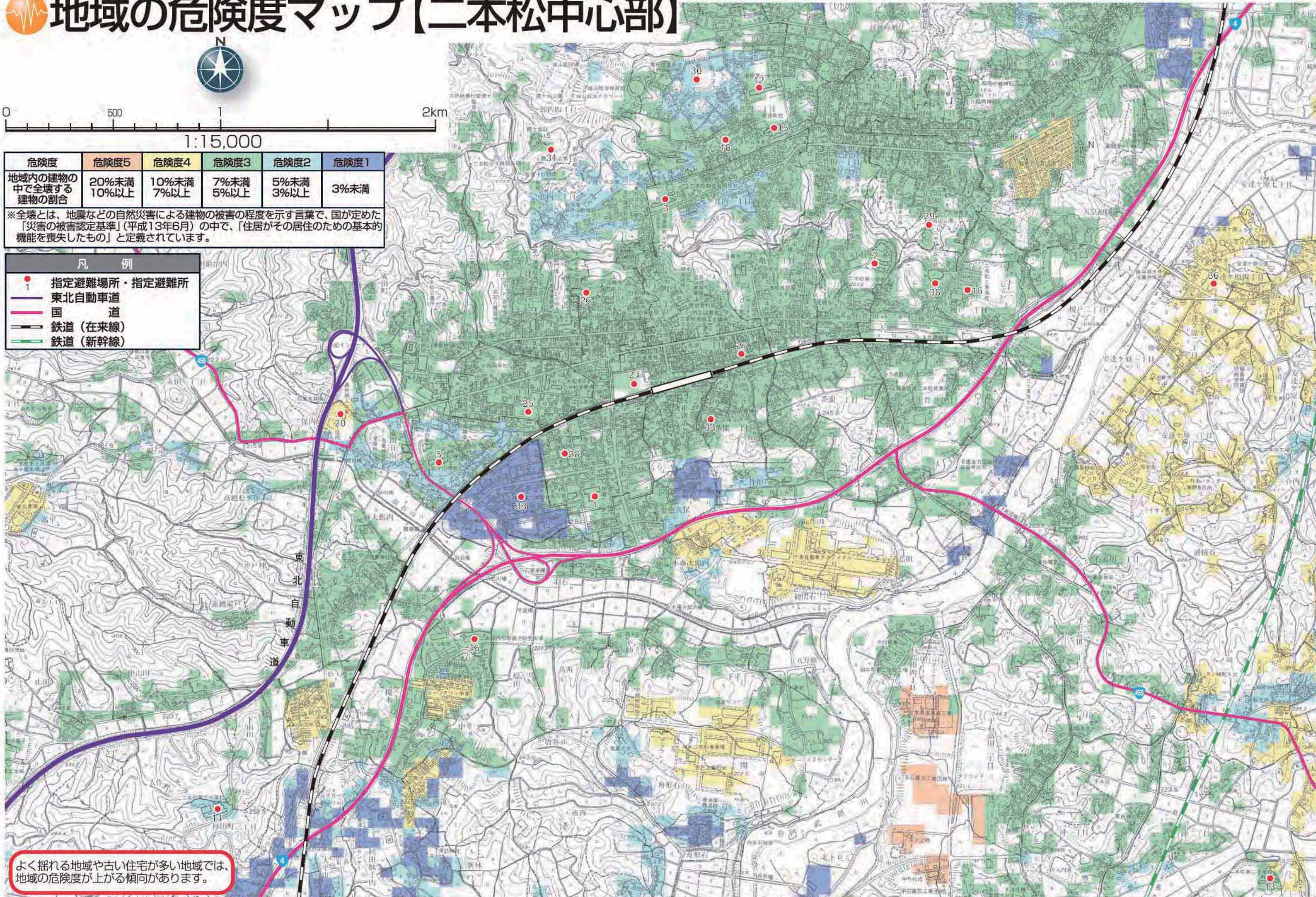
# 地域の危険度マップ【二本松中心部】



危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

- 凡 例
- 指定避難場所・指定避難所
  - 東北自動車道
  - 国 道
  - 鉄道(在来線)
  - 鉄道(新幹線)



よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。

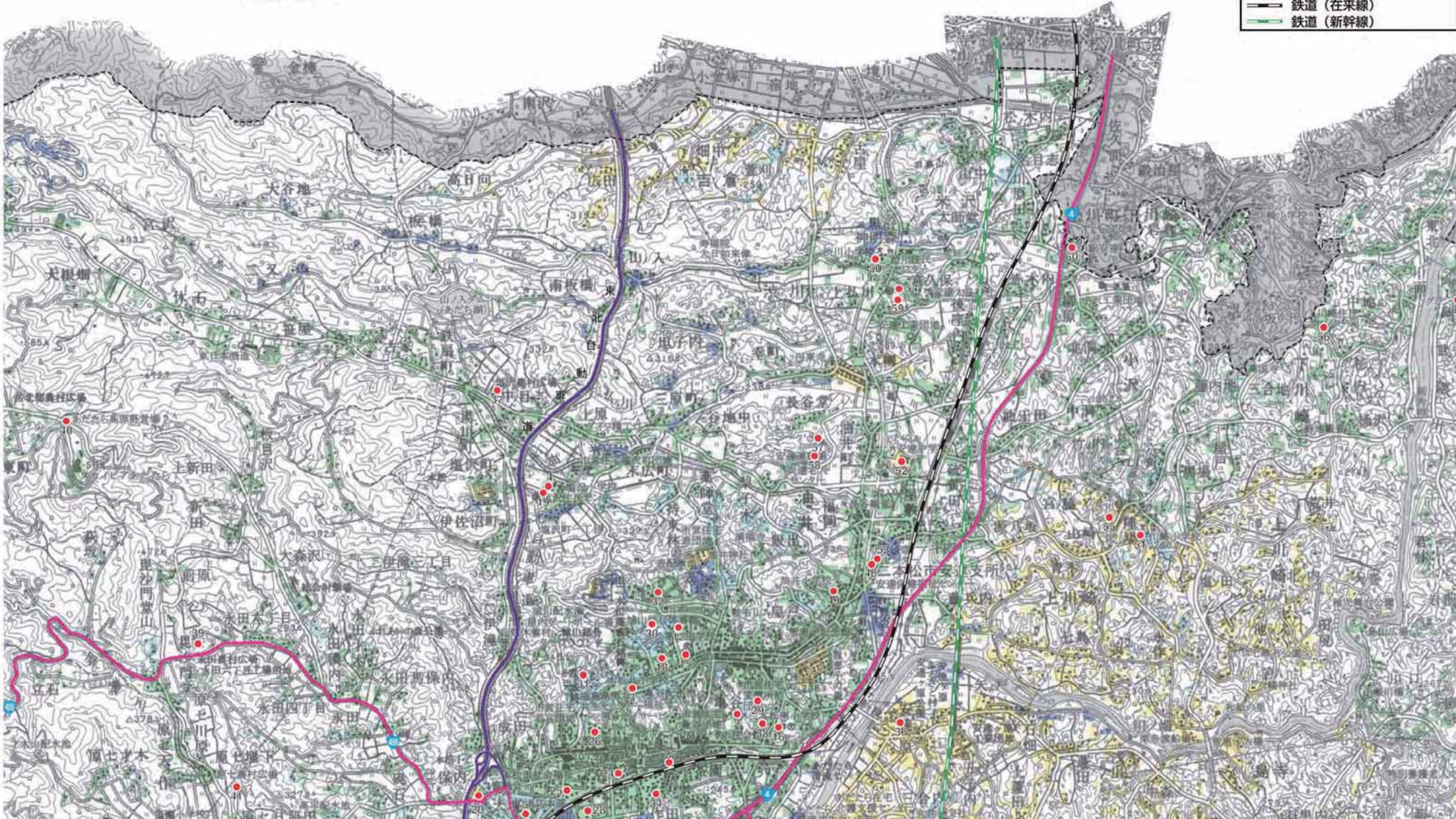
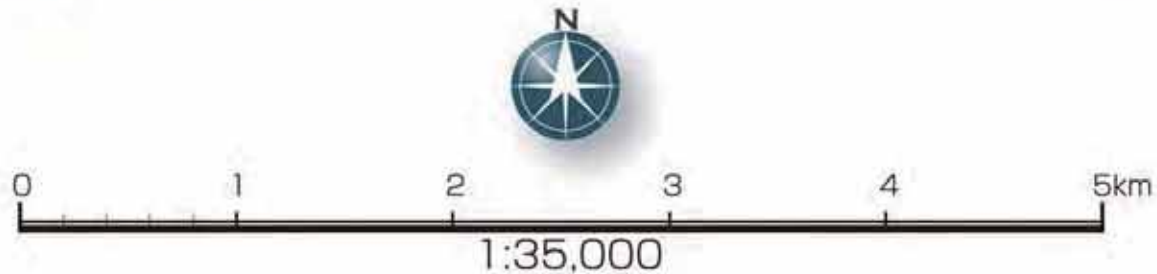
# 地域の危険度マップ【安達地域】

よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。

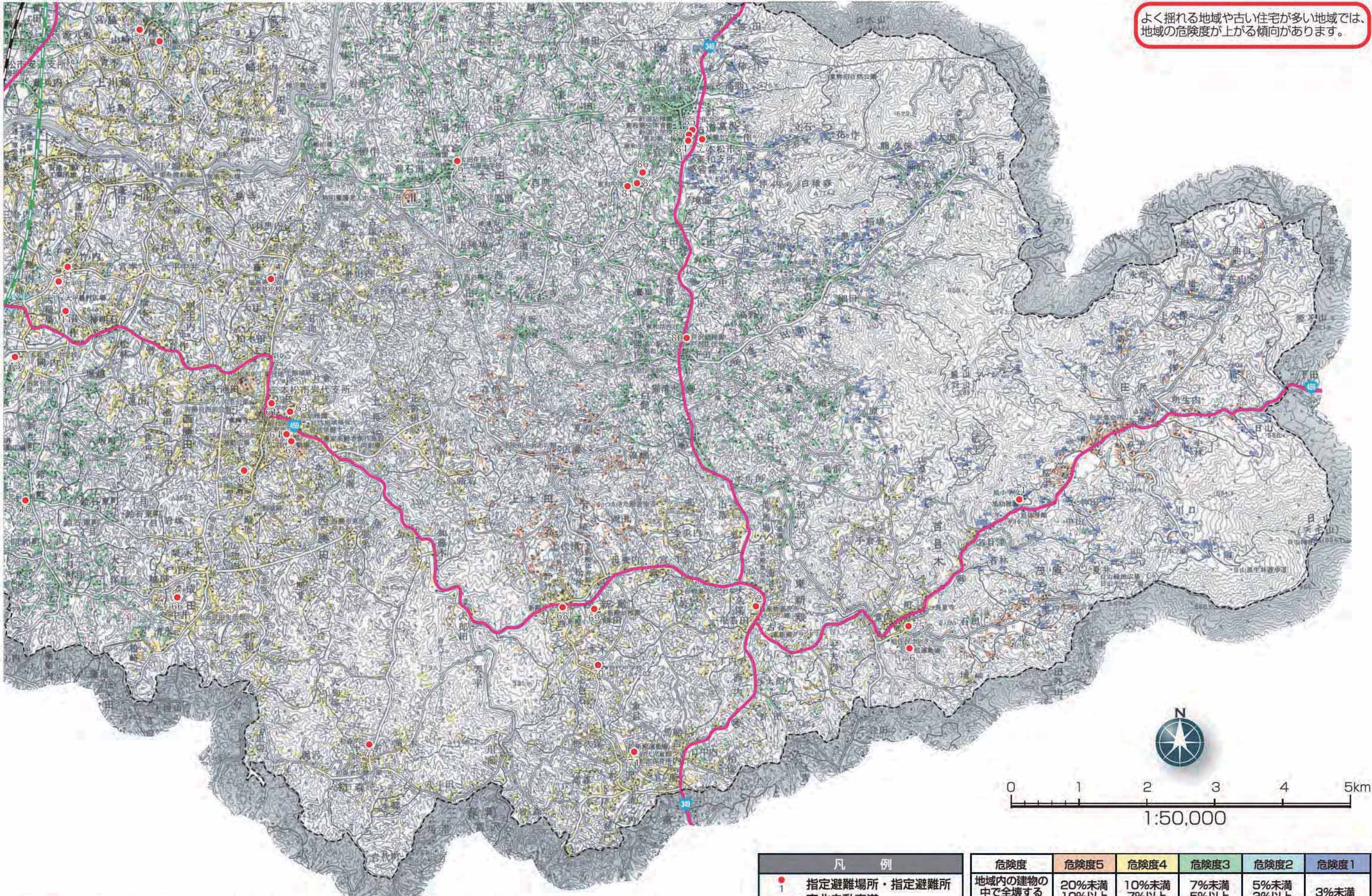
危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

凡 例	
	指定避難場所・指定避難所
	東北自動車道
	国 道
	鉄道 (在来線)
	鉄道 (新幹線)



よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。



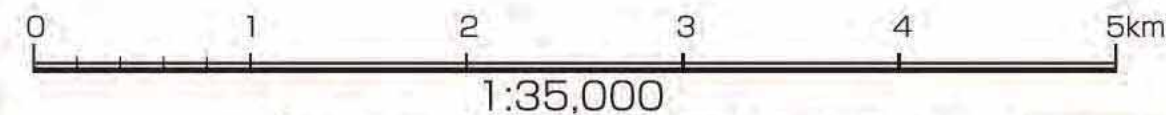
凡 例	
●	指定避難場所・指定避難所
—	東北自動車道
—	国 道
—	鉄道（在来線）
—	鉄道（新幹線）

危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」（平成13年6月）の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

# 地域の危険度マップ【岩代地域】

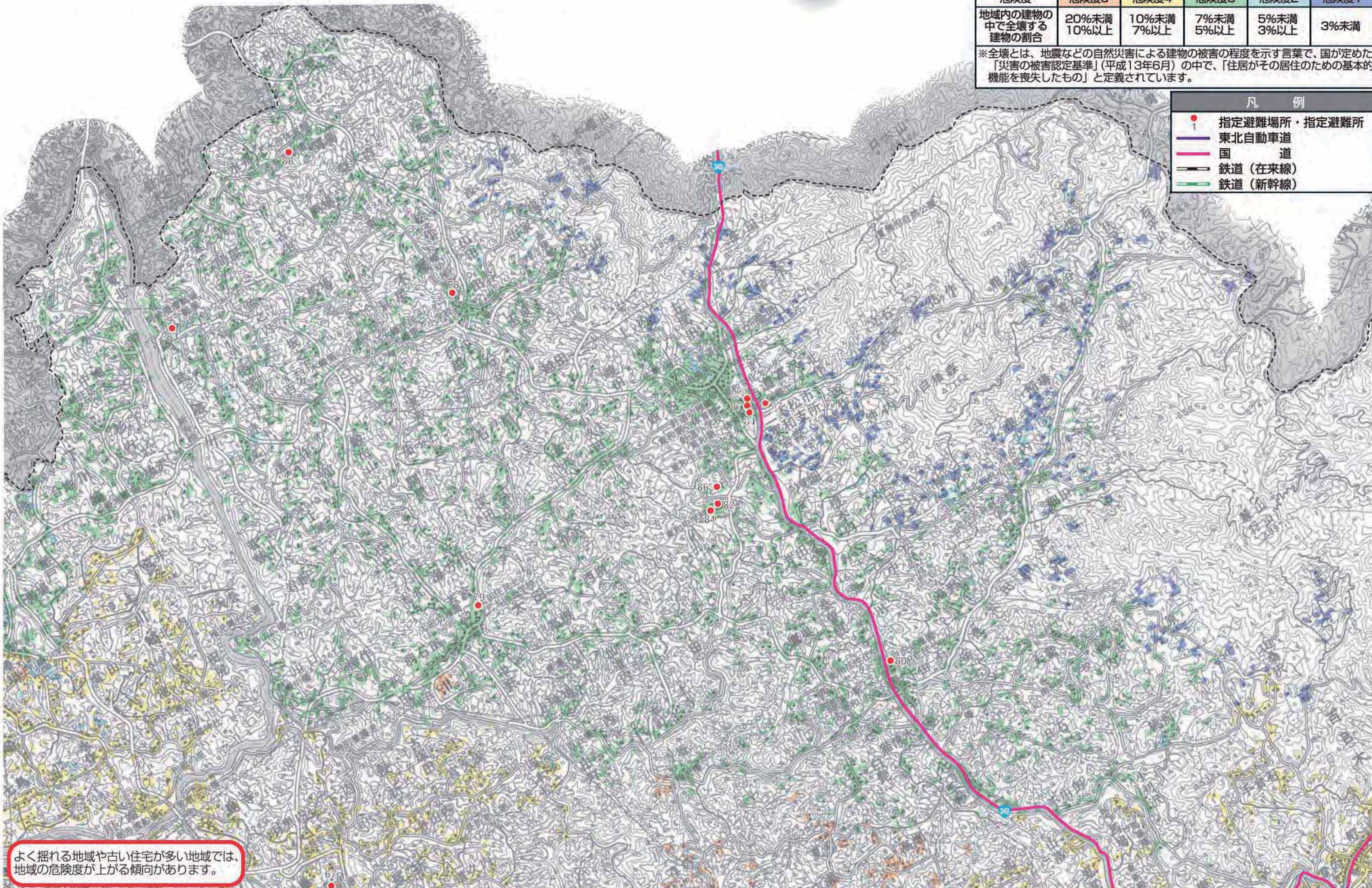
# 地域の危険度マップ【東和地域】



危険度	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%未満 10%以上	10%未満 7%以上	7%未満 5%以上	5%未満 3%以上	3%未満

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

凡 例	
	指定避難場所・指定避難所
	東北自動車道
	国 道
	鉄道(在来線)
	鉄道(新幹線)



よく揺れる地域や古い住宅が多い地域では、地域の危険度が上がる傾向があります。

# 地震に備えて

## 緊急地震速報

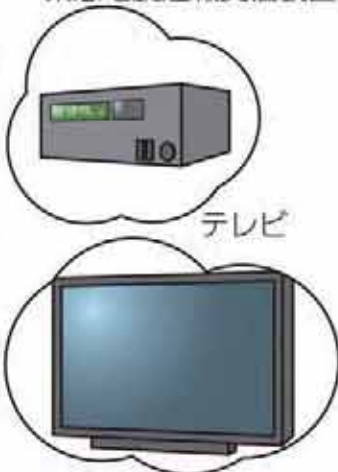
地震はP波と呼ばれる小さな揺れのあと、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前に発表するもので、テレビやラジオ、受信装置で発表されます。

ただし、震源の近くでは、情報が間に合わないこともあります。また、予測震度で、プラスマイナス1程度の誤差があるといった技術的な限界もあります。しかし、わずかな時間を生かして、地震の被害を減らすことができるものと期待されています。

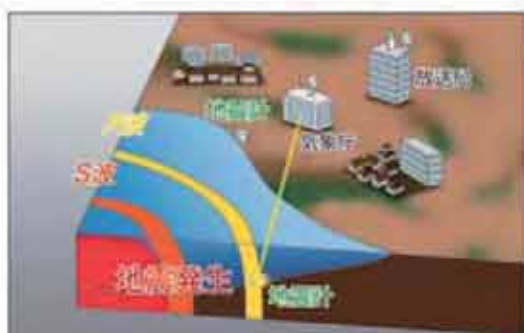
緊急地震速報を見聞きしたら、丈夫な机の下など安全な場所に避難しましょう。また、自動車運転中は急ブレーキはかけず、じょじょに速度を落としましょう。

周囲の状況によって、とるべき行動が変わってきます。日頃から緊急地震速報を見聞きした時の行動を考えておきましょう。

緊急地震速報受信装置



テレビ



(1) S波が来る前にP波を地震計が捉える。



(2) 大きな揺れ(S波)が到達する前に、気象庁が地震の規模などを予測し発表。

## 地震発生時の心得10箇条

### ①まずわが身の安全を

揺れたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠し、座ぶとんが身近にあれば、頭部を保護しましょう。

### ②すばやく火の始末

ガス器具、ストーブなどは、揺れがおさまってからすばやく火を消しましょう。避難前にはガスの元コックを締め、電源ブレーカーを切りましょう。

### ③非常脱出口を確保

揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。

### ④火が出たらまず消火

大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。

### ⑤あわてて戸外に飛び出さな

大揺れは長くても1分程度でおさまります。外は落下物等の危険があるので、落ち着いて行動しましょう。

### ⑥狭い路地、へいざわ、崖には近寄らない

狭い路地、へいざわは、落下物や倒壊の危険があります。また、崖や川べりは地盤がゆるみ、崩れやすくなっています。

### ⑦山崩れ、がけ崩れに注意

山間地で地震を感じたら、すばやく安全な場所に避難しましょう。

### ⑧避難は徒歩、持ち物は最小限に

自動車は消火・救助活動の障害になるため、必ず徒歩で避難します。持ち物も最小限にとどめ、動きやすい服装で避難しましょう。

### ⑨みんなが協力しあって応急救護

軽いケガなどの処置は、みんながお互いに協力しあって応急救護しましょう。

### ⑩正しい情報の入手を

市役所、消防署、警察署などの広報や指示に従って、冷静に行動しましょう。デマに惑わされないよう、注意が必要です。

## 指定避難場所・指定避難所一覧

No.	避難場所	施設名	所在地	電話番号(0243)
<b>二本松地域</b>				
1	●	二本松市役所	金色403-1	23-1111
2	●	二本松南小学校	亀谷2-123	23-0049
3	●	二本松北小学校	郭内1-1	23-0029
4	●	塩沢小学校	塩沢町1-238-1	22-0203
5	●	岳下小学校	大壇175-1	22-0269
6	●	安達太良小学校	岳温泉1-177-1	24-2010
7	●	原瀬小学校	原セオ木380	22-0946
8	●	杉田小学校	中江195-1	22-0704
9	●	石井小学校	小高内3	22-4166
10	●	地域文化伝承館	鈴石町361-1	23-3120
11	●	大平小学校	竹ノ内22-1	22-0754
12	●	二本松第一中学校	郭内2-56-1	23-0870
13	●	二本松第二中学校	沖3-301-1	22-1006
14	●	二本松第三中学校	大作165	22-8349
15	●	安達高等学校	郭内2-347	22-0016
16	●	二本松工業高等学校	榎戸1-58-2	23-0960
17	●	原瀬考古資料室	原セ日照田225	
18	●	かすみが丘保育所	郭内2-333-8	22-0042
19	●	塩沢住民センター	塩沢町1-238-1	22-1263
20	●	岳下住民センター	三保内72-1	22-0306
21	●	杉田住民センター	西町223-1	22-1264
22	●	石井住民センター	平石町365-1	23-1262
23	●	大平住民センター	太子堂282	22-1265
24	●	二本松市市民交流センター	本町2-3-1	24-1215
25	●	若宮公園	若宮2-160	
26	●	松岡児童遊園地	松岡47	
27	●	真弓ひろば	本町2-144	
28	●	金色公園	金色428-1	
29	●	愛宕山公園	根崎1-298-1	
30	●	郭内公園	郭内2-17	
31	●	霞ヶ城公園	郭内3-78	
32	●	表西公園	表2-901	
33	●	向原公園	向原272-1	
34	●	茶園児童遊園地	茶園1-31-1	
35	●	岳公園	岳温泉2-26-2	
36	●	安達ヶ原ふるさと村	安達ヶ原4-100	22-7474
37	●	塩沢農村広場	中ノ目100	
38	●	二本松文化センター	榎戸1-92	23-5121
39	●	永田農村広場	永田6-513-2	
40	●	あだたら高原野営場	上菓木坂3-2	
41	●	原セ農村広場	原セ日照田7	
42	●	杉田農村広場	七ッ段128	
43	●	石井運動広場	平石町564-2	
44	●	大平農村広場	太子堂327	
45	●	箕輪集会所	箕輪2-22-1	
46	●	公設地方卸売市場	中里67-1	
47	●	安達太良カントリークラブ	雄平台15	
<b>安達地域</b>				
48	●	安達支所	油井字瀧石1-2	23-1221
49	●	油井小学校	油井字台5	22-0206
50	●	洗川小学校	洗川字神明森27	53-2004
51	●	川崎小学校	上川崎字上種田1	52-2002
52	●	安達中学校	油井字田向100	53-2104
53	●	安達公民館	油井字瀧石3-1	23-3721
54	●	洗川住民センター	洗川字上弘川96-1	53-2001
55	●	上川崎住民センター	上川崎字宮ノ脇7-3	52-2001
56	●	下川崎住民センター	下川崎字大中地66	61-5335
57	●	安達体育館	油井字長谷堂230	23-2353
58	●	安達運動場	油井字石倉107	
59	●	安達野球場	洗川字上弘川157	
60	●	道の駅安達	下川崎字上平33-1	61-3100
<b>岩代地域</b>				
61	●	岩代支所	小浜字北月山27	55-2111
62	●	小浜中学校	小浜字反町411	55-2236
63	●	小浜小学校	小浜字藤町100	55-2238
64	●	岩代公民館	小浜字芳池1	55-2260
65	●	岩代運動場	小浜字芳池2	
66	●	成田公園	成田字大木99-1	
67	●	安達東高等学校	下長折字真角13	55-2121
68	●	新殿住民センター	西新殿字西1	57-2111
69	●	新殿小学校	西新殿字永作10	57-2201
70	●	岩代中学校	西新殿字一本木188	57-2203
71	●	新殿運動場	杉沢字山田155-3	
72	●	さくらの郷	東新殿字平石田12-2	68-4770
73	●	初森グラウンド	初森字十文字44-1	
74	●	旭小学校	田沢字鳥上44	56-2321
75	●	旭ふれあいセンター	百目木字向町66	
76	●	旭運動場	百目木字鹿畑16	
<b>東和地域</b>				
77	●	東和支所	針道字蔵下22	46-2111
78	●	木幡住民センター	木幡字内65	46-2151
79	●	太田住民センター	太田字塙田47-1	47-3150
80	●	戸沢住民センター	戸沢字下田100	46-2710
81	●	東和小学校	針道字大町西46	46-3421
82	●	東和中学校	針道字大町西1	46-2103
83	●	ウッディハウスとうわ	木幡字東和代34-1	46-3391
84	●	東和第一体育館	針道字蔵下23-1	
85	●	東和文化センター	針道字上台132	46-4111
86	●	カントリーパークとうわ	針道字大町西2	
87	●	すば一く東和	針道字蔵下23-4	
88	●	水舟運動場	木幡字四方北304-1	

**避難場所とは**：各地域・地区にとって日常的に身近な施設であり、一時的に市民の生命を守り得る機能を備えている場所をいう。  
**避難所とは**：被災者の住居に対する危険が予想される場合や住宅の損壊により生活の場が失われたときに、一定期間生活の本拠地として耐え得る機能を備えた施設をいう。



## 防災関係一覧

防災関係機関	所在地	電話番号(0243)
二本松市役所	金色403-1	23-1111
安達支所	油井字濡石1-2	23-1221
岩代支所	小浜字北月山27	55-2111
東和支所	針道字蔵下22	46-2111
消防本部・北消防署	大壇27	22-1211
北消防署岩代出張所	小浜字芳池82	55-2214
北消防署東和出張所	針道字町144-1	46-2320
二本松警察署	若宮2-163-5	23-1212

防災関係機関	所在地	電話番号(0243)
木ノ崎駐在所	木ノ崎406-1	22-1358
岳駐在所	岳温泉2-9-10	24-2044
杉田駐在所	杉田町3-474-7	22-3226
安達駐在所	油井字下中ノ内65-3	22-1053
小浜駐在所	小浜字藤町290	55-2210
新殿駐在所	西新殿字松林8-2	57-2110
旭駐在所	百目木字町163	56-2110
東和駐在所	針道字西ノ内142	46-2202

## 非常持ち出し品

いざという時のために、非常持ち出し品をそろえ、いつでも持ち出せるようにしましょう。両手の自由になるリュックサックが最適です。



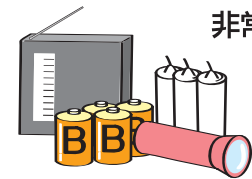
非常食

食料（缶詰、乾パン、ビスケット、チョコレートなど火を通さずに食べられるもの）・飲料水3日分など



貴重品

現金・印鑑・通帳・カード  
免許証・保険証など



非常用具

ラジオ・懐中電灯・予備電池・ロウソク・缶切り・栓抜き・割り箸・ティッシュペーパー・ライターなど



衣類

着替え・ヘルメット・軍手・防災ずきんなど



救急・衛生用品

持病の薬・消毒薬・傷薬・ばんそうこう・生理用品・包帯など



その他

雨具・介護用品など

## 避難メモ

**緊急連絡先、連絡方法** 災害用伝言ダイヤル「171」、災害用伝言板、自宅玄関に張り紙

名前	tel
名前	tel

名前	tel
名前	tel

**避難路（避難は徒歩が原則）** 避難に使うルート

自宅 → → → 避難所 ( )

**家族が離ればなれになったときの集合場所**

①	②
---	---

**避難所名**

①	②
---	---